

令和6年度  
感染症対策指導者養成研修会  
～高齢者施設編～

# 高齢者施設における 感染症対応



金沢区しあわせお届け大使  
ぼたんちゃん

令和6年8月22日(木)  
金沢区福祉保健課健康づくり係

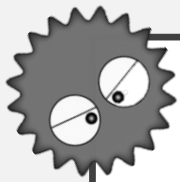
# 本日の内容

- ① 感染症の基礎知識
- ② 高齢者施設における感染症  
感染性胃腸炎(ノロウイルス)  
結核  
感染症拡大防止のために
- ③ 集団発生時の対応について

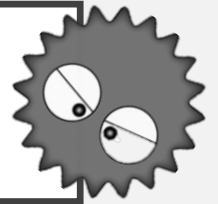


# 感染症の基礎知識

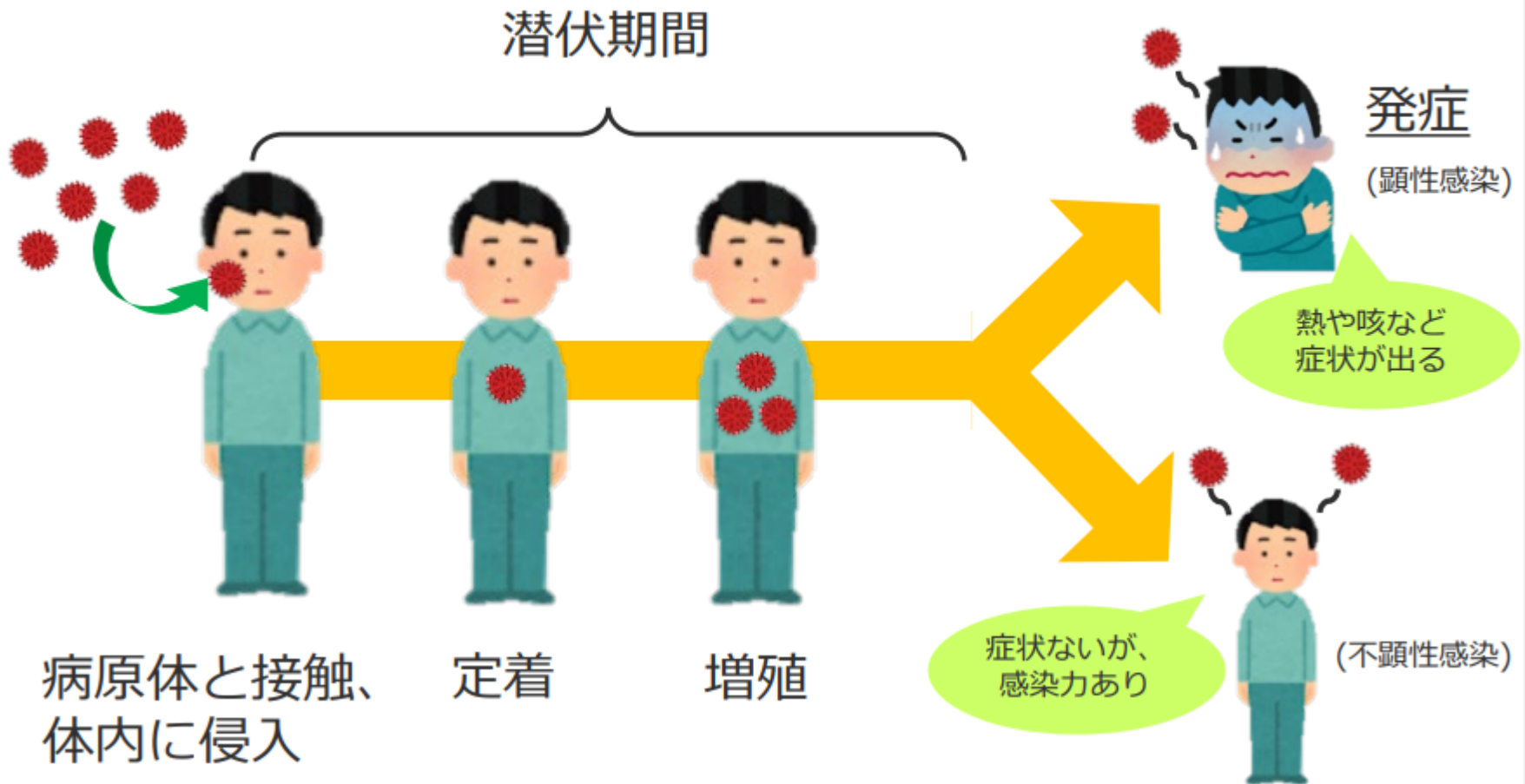




# 「感染」から「発病」まで



感染症は、人間の体に病原体が入り定着、増殖することで起こる。



# 感染症に影響する要因

【対策】  
感染経路の遮断

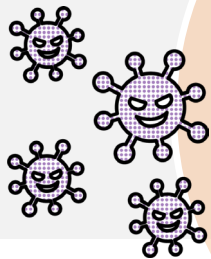
## 感染経路

細菌やウイルスなどを運ぶ経路



## 病原体 (感染源)

細菌やウイルス  
など病気の原因  
となるもの



【対策】  
病原体の排除

## 宿主

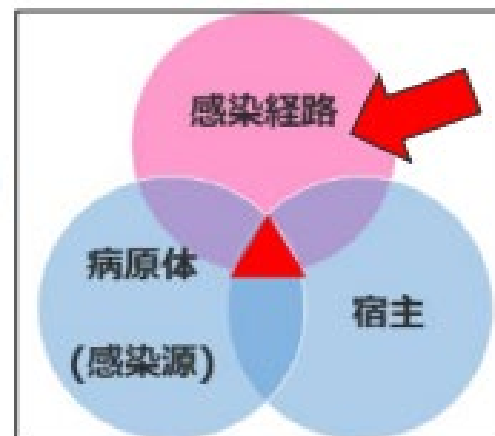
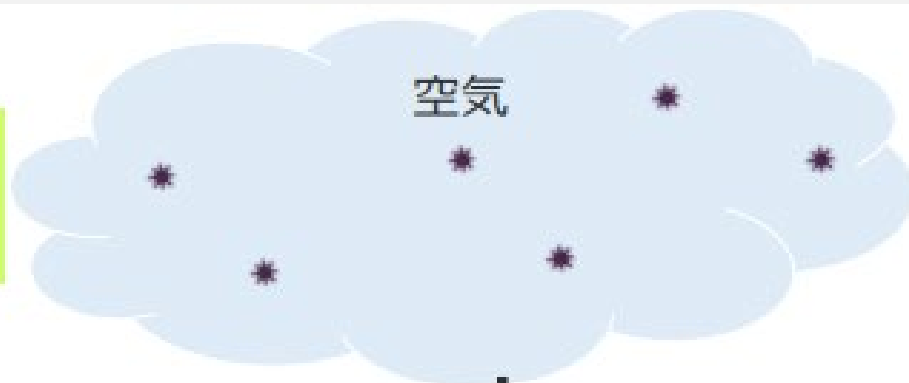
疲労、睡眠不足、  
栄養不足など  
免疫力が低下  
している状態



【対策】  
抵抗力UP

# 感染経路

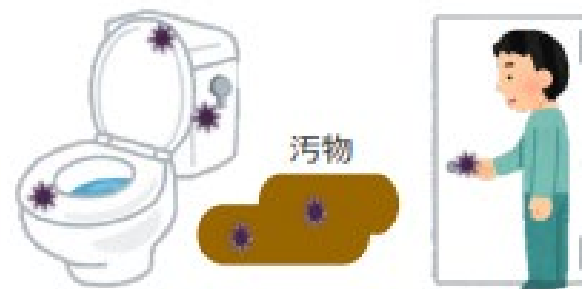
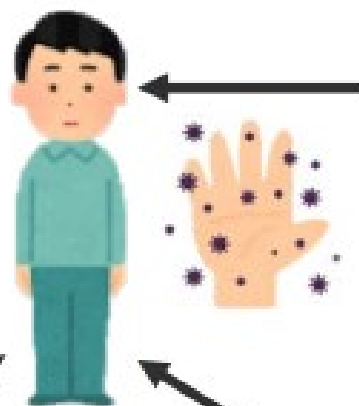
飛沫核感染  
(空気感染)



概ね 2 m 以内



飛沫感染



接触感染

昆虫を介した  
感染



食品や水を介した  
感染

# 接触感染



汚物等の処理時に  
病原体が手に付着

手指衛生が不十分なまま  
ドアノブに触れる



ドアノブに病原体が付着



別の人  
が  
ドアノブに触れる



別の人の手  
に  
病原体が付着



病原体が  
体内に侵入

汚染した手で目・鼻・口に  
触れる、食事をする

# 感染症対策の必要性

## 高齢者の特徴

- 抵抗力が弱いため、感染症にかかりやすい
- 様々な基礎疾患があるため、重症化リスクが高い
- 自分の身体の不調を自覚しにくい
- 認知症等によってマスク着用など自発的な感染対策が難しい
- 介助等でスタッフとの身体的接触が多い。



集団で生活しているため、感染症が広がりやすい状況

高齢者と接するスタッフの方が予防行動をとることで  
高齢者を感染症から守ることができます。



# 本日の内容

## ① 感染症の基礎知識

## ② 高齢者施設における感染症

感染性胃腸炎(ノロウイルス)

結核

感染症拡大防止のために

## ③ 集団発生時の対応について



# 高齢者施設で気を付ける感染症

	新型コロナ	インフルエンザ	ノロウイルス	結核
病原体	新型コロナウイルス (オミクロン系統)	インフルエンザ ウイルス	ノロウイルス	結核菌
潜伏期間	2～7日	1～4日	12時間～ 48時間	6か月～2年
ウイルスの排出 (個人差あり)	5～10日間	7日間	7日間～ 1か月間	個人差あり
症状	発熱、呼吸器症状、 咽頭痛、倦怠感、 肺炎、嗅覚・味覚 障害	高熱、関節痛、筋 肉痛、食欲不振、 呼吸器症状	下痢、嘔吐、 脱水、発熱、 食欲不振、倦 怠感	2週間以上続 く咳、微熱、た ん、倦怠感、体 重減少など
有効な 予防法	アルコール 次亜塩素酸ナトリウム	アルコール 次亜塩素酸ナトリウム	次亜塩素酸 ナトリウム	換気 定期的な胸部 X線検査受診

# 感染症拡大防止 のために



# 持ち込まない(感染経路)

## よくある経路

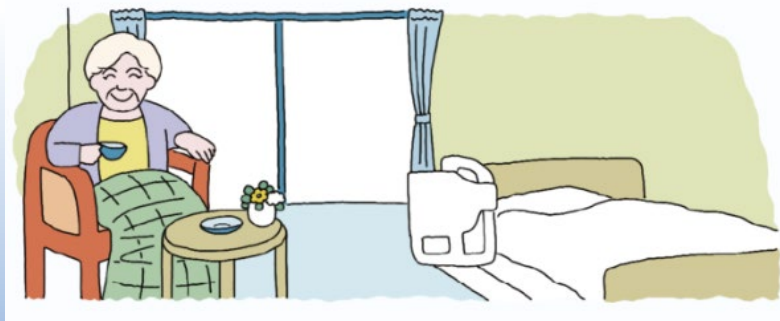
面会



デイサービス併設施設



ショートステイ受入施設



体調不良の  
スタッフ



## 拡大させない(拡大させる要因・場所)

食堂・共有スペース



交流行事



環境



スタッフ



標準予防策の不徹底



## 標準予防策(スタンダードプリコーション)

すべての患者の血液、体液、分泌物、嘔吐物、排泄物、創傷皮膚、粘膜等は感染する危険性があるものとして取り扱わなければならない

1996年 米国CDC（国立疾病予防センター）提唱

例)

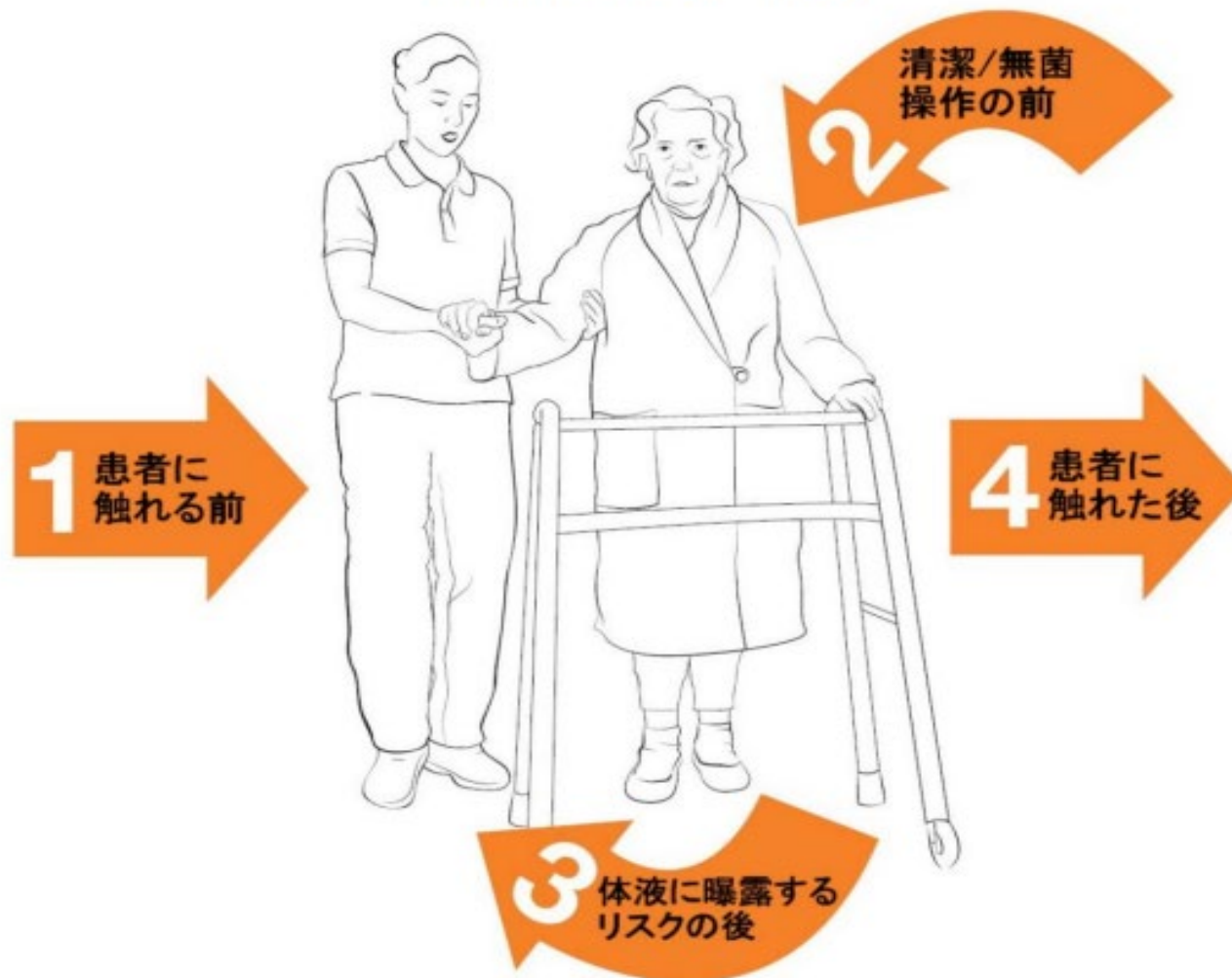
- ・ 体液などを扱う際は手袋を使用する。
- ・ 分泌物が飛散する可能性がある場合には  
マスク、ゴーグル、ビニールエプロンを使用する。
- ・ 咳やくしゃみがあるときにはマスクなどを用いて鼻や口を覆う。
- ・ 手指が分泌物で汚染されたら手指衛生を行う。





# 手指衛生のタイミング

## あなたの**手指衛生**の5つの瞬間 在宅での医療



## 拡大させない(ポイント)

- 標準予防策(スタンダードプリコーション)の徹底
- 共用スペース(食堂、ドアノブ、手すり等)の消毒
- 換気
- 行事等の延期、中止
- 発病者の個室対応(食堂等の利用制限など)
- スタッフのフロア固定(休憩室等も別に)
- 有症状者を担当する職員の固定化を検討(ケアの順番)
- 適切なゾーニング・コホーティング



早めの対処法の決定が重要



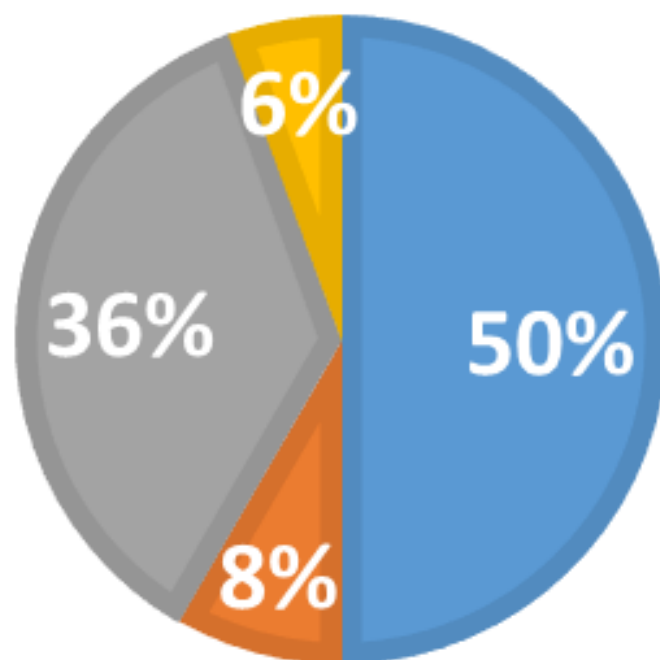
拡大させない(拡大を最小限にする)

療養期間の考え方(原則個人や事業所の判断です)

インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症
<p data-bbox="112 672 898 786">発症後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで</p> <p data-bbox="112 862 803 911">(参考:学校保健安全法施行規則)</p>	<ul data-bbox="985 672 1816 1103" style="list-style-type: none"><li>・発症から5日間経過し、かつ症状軽快後24時間経過するまでが推奨</li><li>・発症から10日間が経過するまでは、ウイルス排出の可能性があることから、高齢者施設に従事している方は、10日間配慮が必要</li></ul> <p data-bbox="985 1176 1696 1258">(参考:神奈川県 新型コロナウイルス感染症 高齢者施設における対応の手引き)</p>

## 事前アンケート 2 インフル予防投与

- ア 積極的に実施している
- イ 感染が拡大したら実施する
- ウ していない
- エ わからない



# 抗インフルエンザウイルス薬の予防投与

- 抗インフルエンザウイルス薬の服薬中は、ウイルスの増殖を抑え、感染しても発病を防ぐことが期待できる。
- 保険適用外
- 服薬について本人の同意が必要
- 適切なタイミングで、適切な期間、適切な量を服用することが必要
- 初発患者の発症から12～24時間以内に開始することが望ましい。
- タミフル®の場合：1日1cap 7～10日



- 【予防投与の考え方参考】
- 日本感染症学会提言2012 「インフルエンザ病院内対策の考え方について（高齢者施設を含めて）」
- 厚生労働省健康局結核感染症課、日本医師会感染症危機管理対策室「インフルエンザ施設内感染予防の手引き 平成25年11月改訂版」

## 日本感染症学会提言2012「インフルエンザ病院内対策の考え方について(高齢者施設を含めて)」より



付図2. 高齢者施設などにおけるインフルエンザ感染予防のフローチャート

# ゾーニングとコホーティング

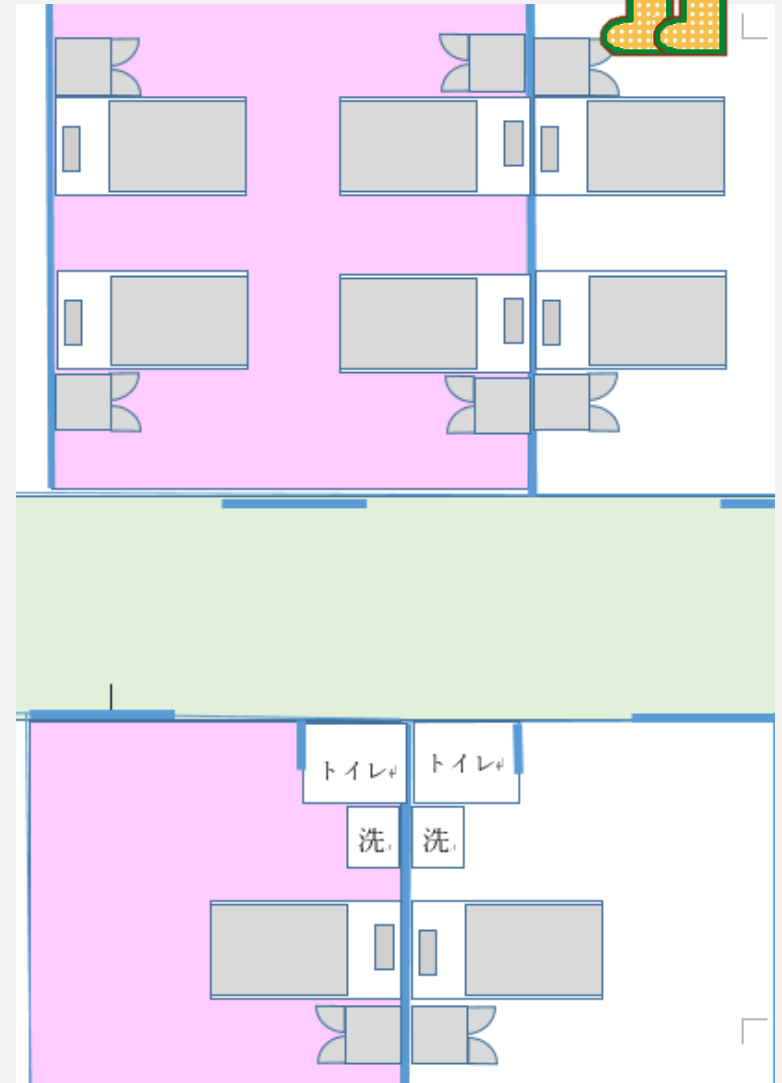
ゾーニングとは  
施設内で感染者が発生した場合、各エリアを設定すること

コホーティングとは  
施設内で感染者が発生した場合、感染者・感染の可能性が  
高い者・それ以外の者の部屋に分けること

# 演習



ゾーニングについて  
考えてみましょう



# 演習

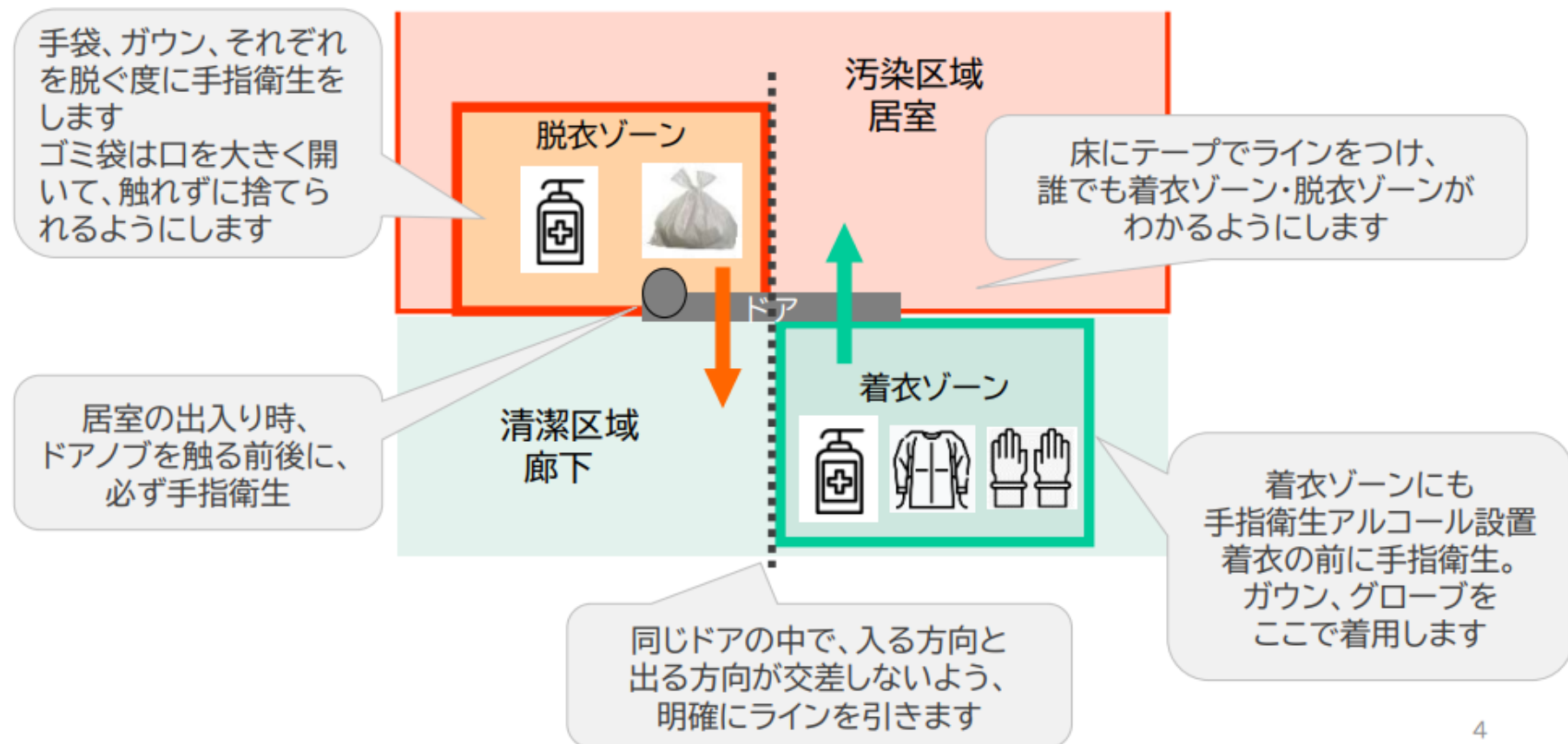


## レッドゾーンの部屋があります

- ・ 消毒液はどこにありますか？
- ・ レッドゾーンに入る前の物品（手袋、マスク、ガウンなど）どこに置いてありますか？
- ・ 部屋から出るとき、どこで脱ぎますか？また、ゴミ箱はどこに置いてありますか？

# ゾーニング（基本）

## 基本は、部屋単位でゾーニングを設定します



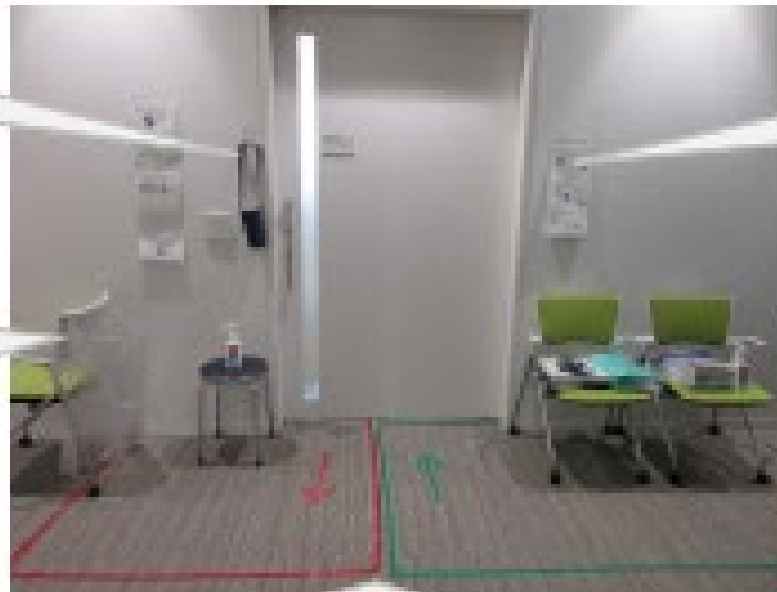


## ゾーニング（応用編）

➡ 「応用編」を実際につくってみると、このような形になります

居室内で使用する消毒薬は汚染区域に置きます

ごみ袋は、袋に触れずに廃棄できるよう、口を大きく開けて設置します



着衣、脱衣の手順がわかるよう、それぞれのゾーンに、手順を掲示します

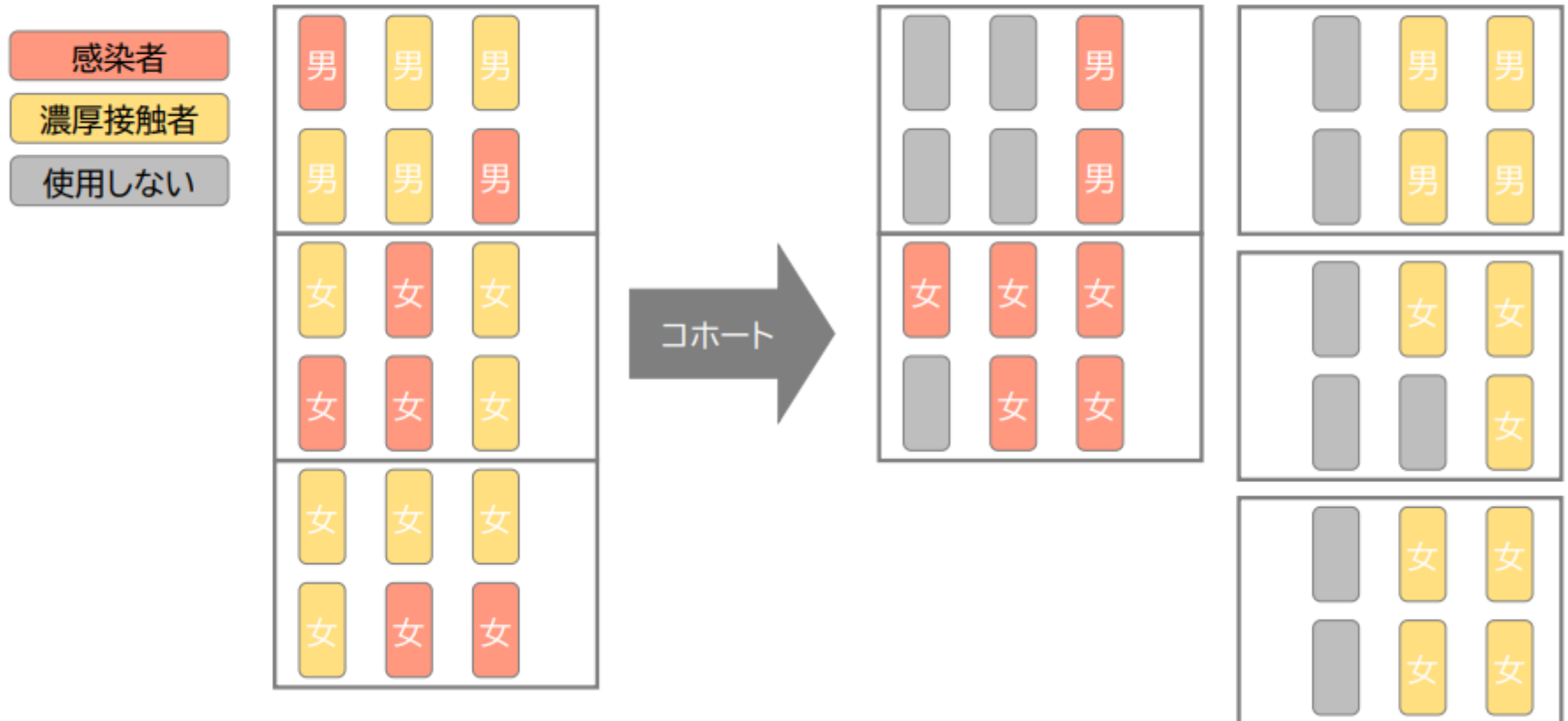
清潔な物品と汚染した物品が触れないよう、置く位置を離しましょう

同じドアの中で、清潔区域と汚染区域が交差しないよう、入る方向と出る方向がわかるように、明確にラインを引きます  
扉の向こうは、汚染区域です。



# コホートの考え方

感染者が散在して発生した場合は、感染者を集めて  
速やかに 感染者と濃厚接触者の部屋を分けます(コホート)



# 本日の内容

## ① 感染症の基礎知識

## ② 高齢者施設における感染症

感染性胃腸炎(ノロウイルス)

結核

感染症拡大防止のために

## ③ 集団発生時の対応について



# 1. 第一報

福祉保健センター  
への連絡



## 感染症発生時の報告基準

「高齢者介護施設における感染対策マニュアル」より

ア 同一の感染症や食中毒による、またはそれらが疑われる**死亡者または重篤患者が1週間以内に2人以上**発生した場合

イ 同一の感染症や食中毒の患者、またはそれらが疑われる者が**10人以上又は全利用者の半数以上**発生した場合

ウ 上記以外の場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

# 新型コロナウイルス感染の状況報告について

＜新型コロナウイルス感染症＞介護事業所・高齢者施設・障害者施設等における感染状況報告 【資料1】

							→直接入力
							→プルダウンから選択
	法人名	事業所名	サービス種別	連絡先氏名	電話番号	eメール	
	報告者氏名	年齢	利用者	職元	フロア	発症日	施設名 (みなしを含む)
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

「報告様式」は横浜市ホームページからもダウンロード可能

横浜市 コロナ 介護事業者	検索
---------------	----

- ◆報告基準に該当する場合、介護事業所・高齢者施設・障害者施設等における感染状況報告を金沢区福祉保健課 [kz-kansen@city.yokohama.lg.jp](mailto:kz-kansen@city.yokohama.lg.jp) へメールにて報告する
- ※健康福祉局高齢健康福祉部 [kf-corona@city.yokohama.lg.jp](mailto:kf-corona@city.yokohama.lg.jp)をCCにいれること

# インフルエンザ集団発生時の報告について

＜新型コロナウイルス感染症＞介護事業所・高齢者施設・障害者施設等における感染状況報告 【資料2】

→直接入力  
→プルダウンから選択

氏人名	事業所名	サービス種別	連絡先氏名	電話番号	メールアドレス

報告者氏名	年齢	利用者	職元	フロア	発症日	施設種別 （みなしを含む）
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

新型コロナウイルス感染症の様式を使用します

「報告様式」は横浜市ホームページからもダウンロード可能

横浜市 コロナ 介護事業者 検索

◆報告基準に該当する場合、

「介護事業所・高齢者施設・障害者施設等における感染状況報告」を

金沢区福祉保健課 [kz-kansen@city.yokohama.lg.jp](mailto:kz-kansen@city.yokohama.lg.jp) へメールにて報告する

# 感染性胃腸炎の集団発生の場合は 感染症ラインリストを作成

【資料3】

誰がいつ発症したか、どこから広がった可能性があるか見やすくなります。

ラインリスト（金沢区版 集団胃腸炎用）											※ 記入の際は入院・入所者及びスタ										
施設名						報告者名															
※時系列で記入してください																					
No.	名前 (イニシャルや漢字1字など)	クラス、部屋番号など	年齢	性別	月 日 ( )			月 日 ( )			月 日 ( )			月 日 ( )							
					発症 経路 感染口	下痢 経路 感染口	その他	発症 経路 感染口	下痢 経路 感染口	その他	発症 経路 感染口	下痢 経路 感染口	その他	発症 経路 感染口	下痢 経路 感染口	その他					
記入例	山田 さん	2階308	89	女	●食室	■	受診	○	□			□									
記入例	長田 介蔵士	2階フロア	32	女					■環境	受診	●自宅	□	欠								
1																					
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					

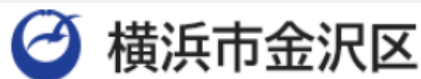
金沢区ホームページに様式を掲載しています

報告は、メールかFAXで金沢区福祉保健課へ

メール : [kz-kansen@city.yokohama.lg.jp](mailto:kz-kansen@city.yokohama.lg.jp)

FAX : 045-784-4600

# 金沢区ホームページ



現在位置 [横浜市トップページ](#) > [金沢区トップページ](#) > [健康・医療・福祉](#) > [健康・医療](#) > [予防接種・感染症](#) > [【施設向け】感染症の集団発生時の報告について](#)

最終更新日 2024年7月12日

## 【施設向け】感染症の集団発生時の報告について

施設などで感染症の集団感染が発生した場合には、診断を確定し、適切な治療を行うとともに、感染経路を調べ、感染拡大を防ぐ必要があります。日頃から感染予防等に十分留意するとともに、感染症の発生があった場合は、ご報告をお願いいたします。

様式はココから

金沢区 感染症





## 2. 現地調査

福祉保健センター職員が  
必要に応じて、施設へ  
調査にお伺いします



感染性胃腸炎発生時の調査票(参考)

調査施設

調査日

調査者

1 介護職員や委託業者等はケア時の予防									
<input type="checkbox"/>	手洗いのタイミング、頻度								
<input type="checkbox"/>	ペーパータオルの設置								
<input type="checkbox"/>	手袋の着用	<input type="checkbox"/>	吐物処理	<input type="checkbox"/>	身体介護	<input type="checkbox"/>	オムツ交換	<input type="checkbox"/>	食事介助
<input type="checkbox"/>	手袋の交換頻度								
<input type="checkbox"/>	マスクの着用	<input type="checkbox"/>	吐物処理	<input type="checkbox"/>	身体介護	<input type="checkbox"/>	オムツ交換	<input type="checkbox"/>	食事介助
<input type="checkbox"/>	エプロンの着用	<input type="checkbox"/>	吐物処理	<input type="checkbox"/>	身体介護	<input type="checkbox"/>	オムツ交換	<input type="checkbox"/>	食事介助
<input type="checkbox"/>	エプロン交換のタイミング								
2 吐物や便の処理									
<input type="checkbox"/>	処理担当者								
<input type="checkbox"/>	使用している薬剤名								
<input type="checkbox"/>	事前作成の有無	<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無				
<input type="checkbox"/>	希釈濃度								
<input type="checkbox"/>	希釈液の交換頻度	一日	回	他:					
<input type="checkbox"/>	薬剤保管場所								
<input type="checkbox"/>	着用	<input type="checkbox"/>	ガウン	<input type="checkbox"/>	手袋(2重)	<input type="checkbox"/>	マスク		
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	使い捨てか						
3 施設内の消毒									
<input type="checkbox"/>	使用している薬剤名								
<input type="checkbox"/>	希釈濃度								
<input type="checkbox"/>	希釈液の交換頻度	一日	回	他:					
<input type="checkbox"/>	保管場所	各階	箇所	他:					
<input type="checkbox"/>	消毒方法								
<input type="checkbox"/>	実施する人								
<input type="checkbox"/>	トイレ	頻度							
<input type="checkbox"/>	手の触れる場所	頻度							
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	手すり	<input type="checkbox"/>	ドアノブ	<input type="checkbox"/>	蛇口	<input type="checkbox"/>	ボタン
<input type="checkbox"/>	床								
<input type="checkbox"/>	浴室								
<input type="checkbox"/>	スリッパ、履物								
リネン類									
<input type="checkbox"/>	施設内での処理方法								
<input type="checkbox"/>	保管方法								
<input type="checkbox"/>	業者への連絡体制								

### 3. 日々の 情報共有

福祉保健センターへの  
連絡は10時ごろまでに



- 新規発症者を  
ラインリスト あるいは  
感染症状況報告書  
に追加していく
- 10時までに  
福祉保健センターへ  
連絡

## 4. 終息の判断

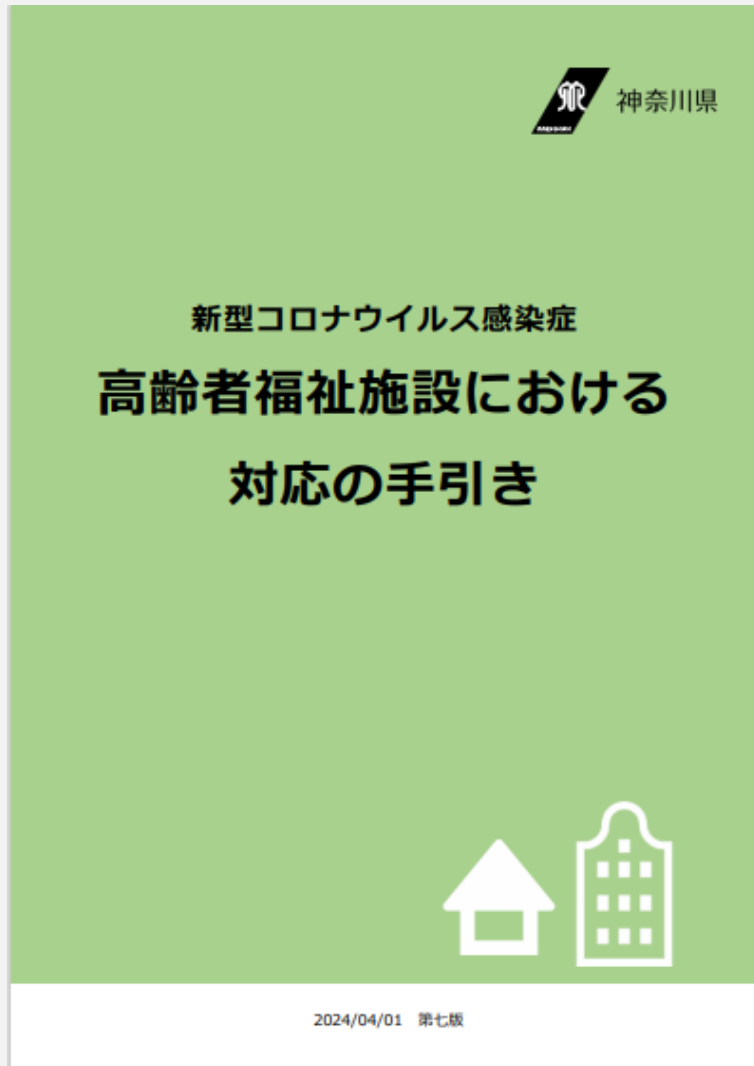
福祉保健センターで  
終息の判断を行います



- インフルエンザ・感染性胃腸炎：最後の患者の発生から**3日間**
- 新型コロナウイルス：最後の患者の発生から**5日間**  
当該施設内での新規発症者が無い場合
- 経過観察を実施し、当該施設内での患者（有症者）数が日常レベル（ベースライン）以下に収まったと確認できた場合

# 【資料の紹介】

＼施設での研修などにご活用ください／



## ②【嘔吐物処理対応】

- 嘔吐物処理についての動画です。
- 下記QRコード先にて公開されているので、参考にご覧ください。



横浜市保土ヶ谷福祉保健センター  
「実践で学ぶ嘔吐物処理」より  
[https://youtu.be/iSfVYPag\\_pE](https://youtu.be/iSfVYPag_pE)



ご清聴ありがとうございました。

# グループワーク



- ・ スタッフの体調管理はどのようにしていますか？
- ・ 感染症予防に必要なガウン、N95マスク等、物品はそろっていますか？
- ・ 感染症に関する研修はどのように行っていますか？  
（時期、回数、方法など）
- ・ その他（他施設に聞いてみたいこと）

# 講義 3 結核について

---

福祉保健課健康づくり係 保健師

# 本日の流れ

---

**0 1** 結核の基礎知識

**0 2** 区からのお願い

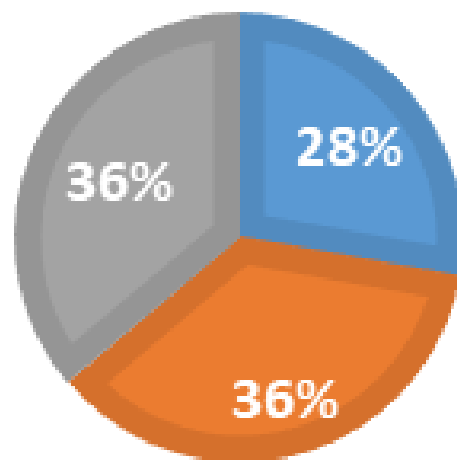
早期発見のために  
結核患者が発生したら

**0 3** まとめ



## 【結核対策について】 利用者の定期的な「胸部X線検査」の結果を 把握していますか？

- ア 施設として年1回実施している ■ イ 体調不良時に受診している  
■ ウ 実施していない・わからない



0 1

# 結核の 基礎知識

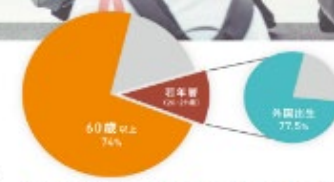
# 0 1 結核の基礎知識 過去の病気ではない！

- 今でも 1 日に 5 人が命を落としている  
日本の重大な感染症
- 結核患者の 70% 以上は高齢者
- 風邪のような症状がずっと続きます

(厚生労働省 結核予防週間 令和 5 年度ポスター →)



せき・たんが2週間以上続いたり、  
微熱や体のだるさが続く場合は、  
早めに医療機関を受診しましょう

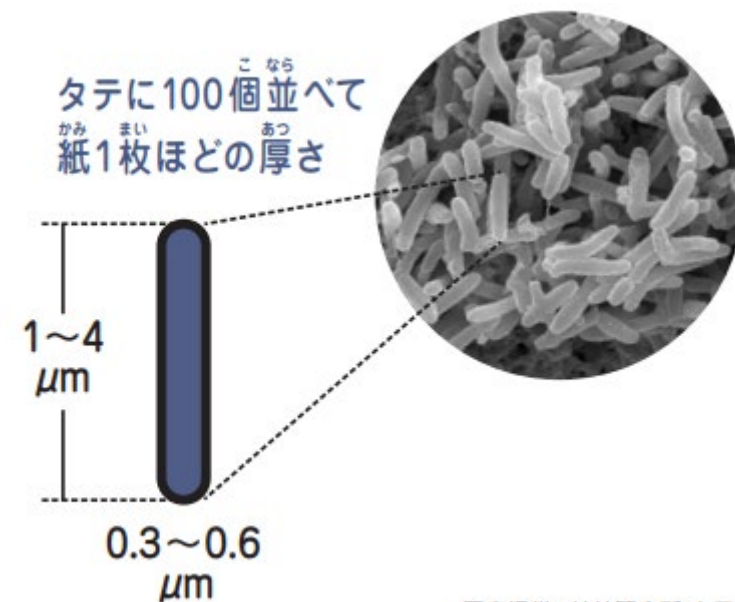


・新規結核患者は、高齢者に多く、およそ3/4(74%)は60歳以上  
・特に近年の外国生まれの患者の割合が増えています。  
・若年層(20-29歳)の新規患者の割合は3/4(77.5%)



# 0 1 結核の基礎知識 知ってますか？結核

- 空気感染で人から人へ感染がひろがる
- 結核菌によって主に肺に炎症が起きる病気
- 早期発見し、適切な治療で治る病気に



写真提供：結核研究所 山田博之

# 0 1 結核の基礎知識

## 2 週間以上続く症状は要注意

Q こんな症状ありませんか？

- ☐ せき
- ☐ たん
- ☐ 微熱
- ☐ 体のだるさ



いずれかの症状が2週間以上続く場合は早めにかかりつけ医を受診しましょう。

他にこんな症状にも注意！

- ☐ なんとなく食欲がない
- ☐ 近頃、寝汗をかいている
- ☐ 体重が減ってきた

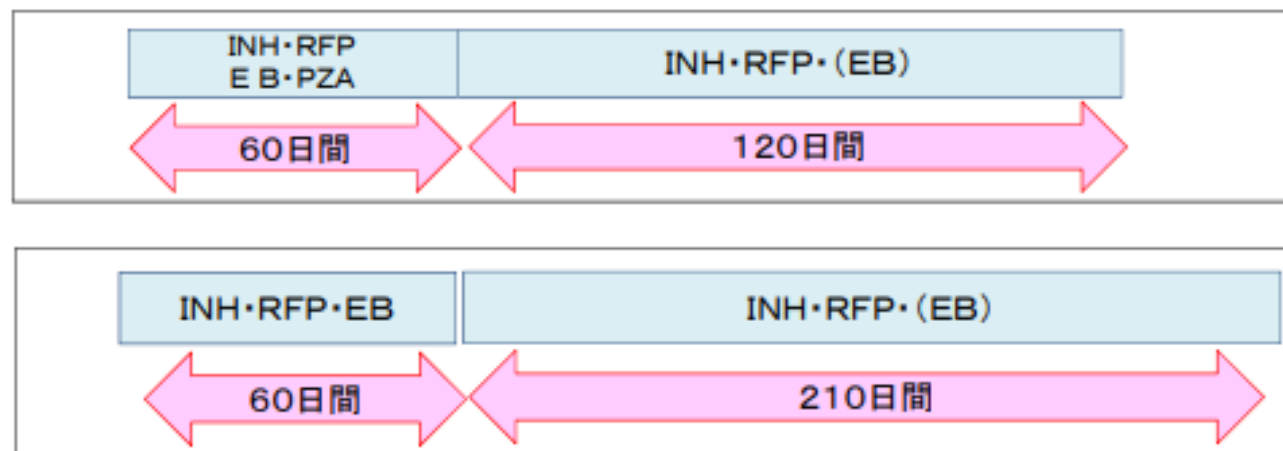


▲広報よこはま緑区版2023年9月号より引用

# 0 1 結核の基礎知識 正しい治療で治る病気に

## <結核の標準治療>

※合併症等患者さんの状況により薬の種類や服薬期間は変わります



## <結核のお薬>



毎日欠かさずに内服を！

02

# 区からの お願い

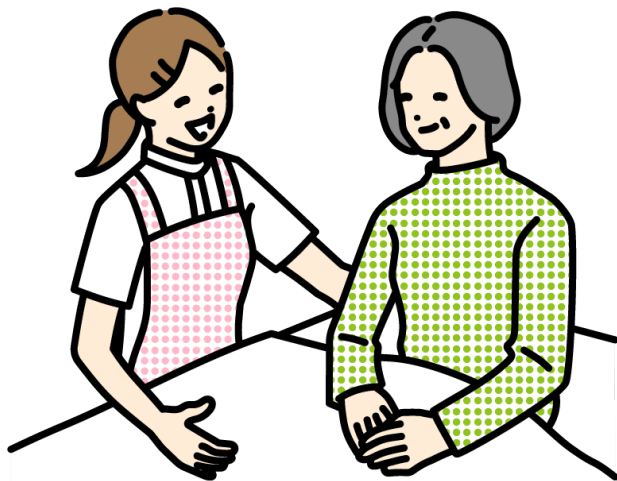
早期発見のために  
結核患者が発生したら

## 02 区からのお願い 早期発見のために 健康観察と胸部X線検査



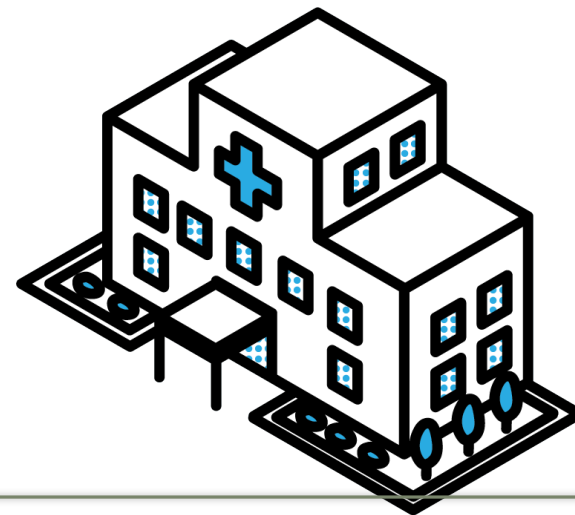
### POINT

2週間以上症状が続く場合は  
医療機関へ受診を



### POINT

スタッフさんは  
1年に1回は胸部X線検査を





## 02 区からのお願い 結核患者が発生したら DOTS（ドッツ）と接触者健診

### 服薬支援

内容：薬の内服状況確認と  
日々の健康観察

例えば...症状悪化はないか、  
副作用はないか

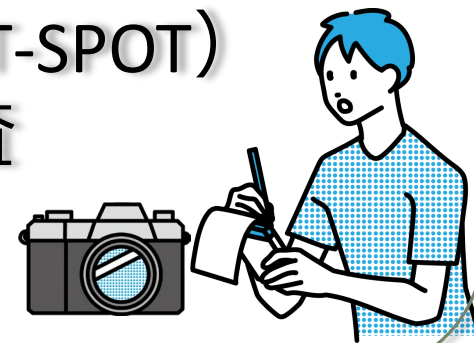


### 接触者健診

目的：感染の広がり、感染源・  
感染経路を調査

流れ：接触状況の調査・区職員  
が施設訪問

内容：血液検査（T-SPOT）  
胸部X線検査



03

# まとめ

## 04 まとめ

# 2週間以上続く症状は要注意

---

- 結核は過去の病気ではない
- 高齢者は咳や痰等の結核に特徴的な症状が乏しいことが多く、  
要注意 2週間以上症状が続く場合は医療機関受診を  
例) 食欲がない、なんとなく元気がない、いつもと様子が違う
- 年に1回、胸部エックス線検査の結果を確認
- 結核と診断された場合、抗結核薬を毎日確実に内服

